

# 宿縁

七月号

## 宗教にも科学にも

## 盲信がある



今の時代、すべてにおいて効率的で、速く、論理的でなければと教育された人たちに仏法を伝えることは難しくなりました。

そしてそれ以上に怖いのは、自らの工夫と努力を放棄して「時代だからしょうがない！」と思っている世代の人たちです。

家族や縁者に、仏法に関心を持ってもらい、仏事を大切にしてほしいとの願いを少しでも持っているなら日々のおのれの姿勢を先ず省みる必要があります。

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号

浄土真宗  
本願寺派

## 中原寺

TEL 〇四七―三七二―〇二九二  
FAX 〇四七―三七二―〇二六一

日常の仏事や仏法への態度がいつの間にか色あせたものになっていないだろうか考えてみたいと思います。

ほのぼのとしたある光景を時折思い起こすことがあります。それはだいぶ前になりますが、おじいちゃんが孫を幼稚園に連れていく途中に、道端の四辻にある小さな祠があり、立ち止まって一緒に手を合わせている姿でした。幼い時から尊いものへの畏敬の念を育てるなんとも大切な光景だったと忘れられません。

それは言葉ではなく、「いつでも見ているんださるからね！」「見られているんだよ！」との心の人間教育でありましょう。心を育てるのは宗教の領域です。モノを分析するのは科学です。

「拝んで助けてもらうじゃない。拝まれてくださる如来さまに助けられていること」と念仏の安らぎを表現された善太郎同行(一七八二―一八五六)の心には少しの迷信や盲信が入り込む余地がありません。

科学が発達し、より高度でより便利な社会生活を追及するあまり、機械と数値化された悩は、本来の大自然や生きものの不思議さを素直に受け取ることを忘れ神秘的な領域を踏みこじって、人間こそが偉く尊いものと錯覚するようになりました。

二十世紀史上、最も深い考えを持っている科学者アインシュタイン(一八九七―一九

五五)の有名な言葉があります。

「宗教なき科学は不具であり、科学なき宗教は盲目である」

盲信という言葉は宗教にも科学にも当てはまります。後半の「科学なき宗教」というのは、過去のヨーロッパのキリスト教による圧制的支配を念頭に置いたものといわれています。天動説や進化論など科学の領域に独自の断片な神話を持ち込み人格神の概念によって、科学が永年に渡って宗教によって支配される原因となっていたことをいうのでしょうか。アインシュタインの期待した宗教は仏教の世界観、価値観といわれています。本来の宗教とは、すべてを支配するようなものではなく、また全然別の世界ととらえるものではなく、人間社会が生み出す科学、芸術、音楽などさまざまな分野の根底に位置されるものだと思います。

今月は、かつて世の中を震撼とさせたオウム真理教事件で逮捕された首謀者を始め十三人の死刑確定者の刑が執行されて二年がたちます。首謀者は自ら悟りを得たとして絶対者を名乗り、意に従うものを操り、意に従わないものをポアと称して弟子たちに抹殺させました。自分自身の能力を認められた若き弟子たちの多くは優秀な頭脳と技術を持つていたといわれます。

優秀とは何をもって優秀というのか、あの事件のときみんなが考えさせられた筈なのに、国民はしっかりとこの事件に向き合ったとはいえません。ただ漠然と宗教とは、信仰とは怖いものと片付けてしまったのではなないでしょうか。宗教とは何か？時間をかけて自分の中に問うてみたでしょうか。

今昔物語集にこんな話が載っています。

『京都の愛宕山に、長く修行を続けている僧があった。長年にわたり余念なく法華経を誦読していたが法門を深く学んだこともなかった。その山の西に鹿や猪を射ることを生業とする獵師がいた。この獵師は上人をねんごろに敬い、供養の品を届けていた。あるとき、上人は獵師にささやいた。「近ごろきわめて尊いことがある。長いあいだの靈験で、最近、夜な夜な普賢菩薩が現れたまう。お前も今宵は拝んでいきなされ」。「それはきわめて尊いこと、拝ませていただきます」。

獵師は上人とともに寝ずに待っていたが、夜半過ぎ、東の峰のあたりが明るく白くなり、僧房の中にも光が射し込んだように明るくなった。見れば普賢菩薩が白象に乗って降りてきた。上人は泣きながら恭しく礼拝し、後ろにいた獵師に言った。「どうだ。そなたも拝みなされたか」。「まことに尊く拝みました」と答えたものの心の中で思った。「上人には見えて当然かもしれない。しかしお経も知らぬわしに見えるというのは実に怪しい。誠の菩薩か試してみよう」と光に向かって矢を射かけてみた。夜が明け菩薩が立っていたところを見ると、おおきな狸が矢に射抜かれて死んでいた。』

この物語は、修行を積んだ上人といえど自らの智慧を過信した者はこのようにたぶらかされる、殺生の罪を作っている獵師といえど、思慮あれば偽りをはがすことができるということです。

仏教は知識を学ぶためのものではなく、深く仏さまのこころを聞き学ぶことです。それには常に仏法聴聞の場に参加することです。

【寺灯雑記】

○赤ちゃんお誕生を阿弥陀さまに奉告  
6/17

昨年11月16日にお生まれになった野田裕紀・麻実ご夫妻のご長男琉晴ちゃんの初参式が本堂で執り行われました。仏の子としてご家族そろって阿弥陀さまへ誕生の喜びを奉告しました。

式師ご住職からは琉晴ちゃんに子ども式章とお念珠が渡され、また記念に「いのちのあい」のアルバムと合掌人形が贈られました。おめでとうございます。健やかなご成長を心より念じています。

○約4か月ぶりにお寺の行事が再開

新型コロナウイルスの影響によって、2月末からお寺のすべての行事を中止していましたが、6月21日の常例法座より再開いたしました。久しぶりにお寺に参詣された皆さんが、それぞれに笑顔で再会を喜び、互いの近況報告をなさっていました。

この日の法座は、参詣者席の間隔を通常より広くし、読経と法話の時間は短く設定し、ご講師にもマスク着用でお話しいただきました。

その後、教行信証に学ぶ、婦人会法座、壮年会法座も順次再開することとなります。当然、コロナ対策を講しながら通常とは違った形での法座となりますが、ご協力をお願いいたします。

○門信徒会役員会で今後の行事を協議

6/21  
今年度二回目となる門信徒会役員会が開

かれ、各理事にお集まりいただきました。前回の役員会の議事録確認に引き続き、三月以降に中止となった行事・法要について、住職よりその経緯が説明されました。

また、今後の行事について協議され、八月の中原寺ファミリーパーティーと子ども合宿、十月に予定されていた文化講演会が中止されることが決まりました。尚、文化講演会にご出講いただく予定だった中島岳志師には改めて来年の文化講演会(10月16日)にお出かけいただくこととなりました。

○本堂その他の諸工事が終了

昨年秋の台風によって被害を受けていた本堂屋根瓦の一部損壊、雨樋の修理等がようやく5月に入って始まりました。また引き続き本堂正面向拝の外廊下の腐食部分の取り換え工事並びに客殿カーペット張り替え工事も行われ、6月末に終了しました。

○映画「明日へ」戦争は罪悪である」上映

コロナ禍のため開催が延期されていた映画「明日へ」の上映日が決まりました。  
\*観賞前売券 1,000円(当寺で販売)  
\*上映日時 10月18日(日)  
14時・18時

\*会場 市川市八幡市民会館の2回  
老いた落語家が語り継ぐ、第二次世界大戦中、叛骨の僧侶の反戦をもとにした映画です。是非皆さまにご鑑賞をお薦めします。

【仏教語講座「冗談」(じょうだん)】

「あの人は、よく冗談をとばすよ」とか、「冗談はよしてください」とか「彼は冗談が通じないから困る」などという言葉は、一般に、ふざけた語、滑稽(こっけい)な言葉、あるいは、ユーモアのある会話などの意味に使われています。

「冗談半分」というと、まじめな話とおどけた話が、半ば入りまじっているのでしょう。また、「冗談じゃない！」と語気を強めて言うときは、相当頭にきて怒っている状態ですね。

「瓢箪(ひょうたん)から駒が出る」をもじって「冗談から駒が出る」という諺(ことわざ)もありますし、ドイツでは「冗談からしばしばまじめが生まれる」という諺もあります。

最近では、男女を問わず「面白い人」が人気ですから、ユーモアがあつてうまく冗談が言えることも、人間関係の上では大切なことかもしれません。

しかし、仏教では、仏道修行中、それに関係ない無用な対話を「冗談」と呼んでいます。「冗」という漢字は、むだ、あまつている、不必要という意味を表しますので、無駄話という意味なのでしょう。

それが、やがて、仏道修行以外の場でも用いられるようになり、現在のような日常語になっていったようです。

(大乘6月号より転載)

【法座・行事の案内】

○常例法座

\*七月十九日(日) 午後一時  
おつとめ・讚仏偈

講師：鷲元明俊師(茨城県上宮寺前住職)  
お迎えするご講師は、親鸞聖人関東在住(主に常陸の国稲田を中心とする)の折、筑波山を中心に勢力をもつていた山伏弁円がいました。親鸞さまの念仏伝道に妬みを抱いていたが、ある日稲田の草庵を尋ね、み教えを聞いてたちどころに改心して弟子となり、明法房となった。お寺はその明法房を開基とします。

○孟蘭盆会法要(全戦没者追悼法要併修)

\*八月十日(祝) 午前十時  
おつとめ・重誓偈、仏説阿弥陀経

講師：桜井大雄師(港区善行寺)  
※各法座・行事にご参加の際はマスクの着用をお願いいたします。

【七月の掲示板のことは】

あなたの人生はどこに向かっているのですか?  
浄土か 地獄か

【お見舞い】

九州地方をはじめ各地で豪雨による甚大な被害が起きています。被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

※「ユーチューブ中原寺」で検索

前住職が10分法話を配信中！です。